

案件化調査：職業訓練・産業育成分野 ベトナム金型産業・人材育成調査

企業・サイト概要

- 提案企業：株式会社オーミ・株式会社日本開発サービス共同企業体
- 提案企業所在地：静岡県
- サイト・C/P機関：ベトナム国ハノイ・ハノイ工科大学CNC技術センター

ベトナムの開発課題

- 現地調達率が低い：ASEAN域内他国と比べても、日系製造業企業の現地調達率は著しく低い。
- 裾野産業が未発達：自動二輪を除いて、自動車や家電の部品製造を行える裾野産業企業が質・量ともに不足。税制等、投資環境整備にも課題。
- 人材が足りていない：特に裾野産業の基盤となる金型製造技術者が不足。

中小企業の技術・製品

- 現地他社では殆ど取り扱っていない難成形部品プレス金型設計・製造技術を持つ。
- プレス金型を活用した部品等製作工程簡略化
 - 高張力鋼板(ハイテン)のプレス金型・成形品製造
 - 建設資材(グレーチング、ガードレール等)のプレス金型・成形品製造
 - プラスチック・その他素形材金型・成形品製造

提案されたODA事業及び期待される効果

- 金型人材の技術レベルが低く、人数も不足しているという課題に対し、企業従業員の技術向上(短期)と金型人材育成に係るC/P機関のキャパシティ・ディベロップメント(長期)の推進をODA事業により実施。
- 企業同士の連携、設備の充実、関税など制度面の課題に対し、金型企業の横の連携促進・グループ化をODA事業により支援。これにより、人材育成と共用設備利用の仕組みが構築され、中小金型企業の投資負担が軽減。投資環境整備に関する企業グループとしての公的な働きかけも強められる。
- 現地裾野産業、特に金型産業の厚みが増し、日系製造業企業全体の経営に裨益。

日本の中小企業のビジネス展開

- 中小零細企業が多い日系金型企業の投資負担が減り、日系企業の更なるベトナム国への直接投資と新市場開拓が促進される。

